

シンポジウム

ラムサール条約湿地でひらく地域の未来 10万年の湿地・中池見から考える

主催 日本自然保護協会

協力 ウェットランド中池見

中池見ねっと

ラムサール・ネットワーク日本

後援

日本湿地ネットワーク

日本国際湿地保全連合

日本野鳥の会（予定）
世界自然保護基金ジャパン（予定）

日時：2014年 **12月21日（日）** 13:00～18:00

場所：Y M C A アジア青少年センター 9階国際ホール

（東京都千代田区猿樂町2-5-5）

アクセス：JR水道橋駅から徒歩5分、JR御茶ノ水駅から徒歩8分、
地下鉄神保町駅から徒歩7分

参加費：500円（会場・資料代）

要申込

申込み方法：①お名前、②所属、③メールアドレス等連絡先を下記の申込み先

Googleフォーム、又はメール・FAX・電話にて

12月15日（月） までにお知らせください。

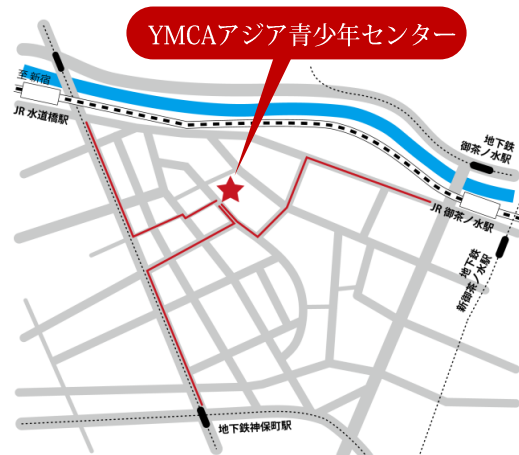
申込み先：（公財）日本自然保護協会 ラムサール条約シンポジウム係（担当：福田 真由子）

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

TEL 03-3553-4104 / FAX 03-3553-0139 / satoyama@nacsj.or.jp

申込みGoogleフォーム：<http://goo.gl/mPyMMQ>

詳細ウェブサイト：<http://www.nacsj.or.jp/katsudo/nakaikemi/2014/10/post-13.html>



日本自然保護協会
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

○プログラム（予定）

■講演 13:00～

「ラムサール条約湿地から考える持続的な利用と保全の知恵」

マーセル・シルビウス（国際湿地保全連合・事業部長）＊逐次通訳つき

「中池見湿地の自然とラムサール条約登録までの道のり」

笹木 智恵子（NPO法人ウェットランド中池見）

「中池見湿地から考えるラムサール条約湿地を未来に継承するための課題」

吉田 正人（NACS-J専務理事、IUCN日本委員会会長）

「ラムサール条約の実施について」

辻田 香織（環境省自然環境局野生生物課湿地保全専門官）



■パネルディスカッション「ラムサール条約湿地で地域の未来をひらくために」 16:25～



講演者4人と会場からの話題提供を通して、

湿地の価値の普及や

地域で未来を選択するために何が必要かを話し合います。

■閉会 18:00

○マーセル・シルビウス氏 プロフィール

国際 NGO「国際湿地保全連合」事業部長・IUCN の種の保存委員会の水鳥専門家グループのメンバー。湿地保全と持続可能な開発を結びつけた事業立案・展開に精通し、2011年から、国際湿地保全連合の「暮らしと気候」に関する世界事業のリーダーとして活動。

これまでに、60を超える書籍・科学論文を執筆している。



○主催団体 日本自然保護協会とは

会員約 2 万人に支えられている自然保護 NGO。1951年に発足して以来、全国の自然保護問題や自然観察指導員の養成、調査、政策提言等に取り組んでいます。

